

第3次拡張事業 (昭和27年度～31年度)

伊万里市誕生と広がる給水地区

伊万里町とその周辺の人口増加や生活水準の向上により、水需要が増大したため、第3次拡張事業が行われました。

昭和27年6月に認可を受け、昭和31年11月に完成しましたが、その期間中(昭和29年4月)に2町7村が合併し、伊万里市が誕生したこともあり、旧伊万里町であった瀬戸町、木須町、大坪町の他に、旧二里村の川東地区が給水区域に入りました。



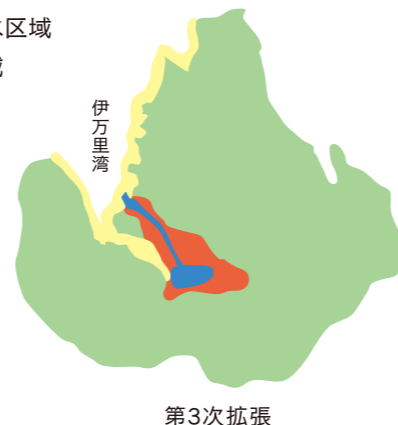
第3次拡張事業竣工式

計画給水人口は21,000人、1日最大配水量も4,830 m³にすることとし、ろ過池や配水池等を増設し、配水管延長24.8kmを布設したため、伊万里市民のおよそ20%が給水を受けることができました。

また、創設当時に設けられていた29ヶ所の共用栓も廃止され、各戸への専用給水に変わりました。

第3次拡張事業	
計画給水人口	21,000人
計画1日最大配水量	4,830 m ³
計画1日1人給水量	230%
着工年月	昭和27年11月
竣工年月	昭和31年11月
総事業費	21,000千円

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第3次拡張事業の竣工式が行われた昭和31年11月28日には、あわせて「中村千代松翁」の功労記念碑の除幕式が行われました。

同記念碑は、旧伊万里町役場前に大正11年5月に建立されていましたが、第2次世界大戦中に銅像が金属回収の対象になり供出され、台のみ放置されていたことから、拡張事業の完成を機に浄水場入口に新設されました。



中村千代松翁功労記念碑除幕式



旧伊万里町役場前の中村町長銅像

立花町東円蔵寺にあったこの浄水場は、今ではその役目を終え、平成5年4月に公園として整備されました。グラウンドゴルフに集う人々の歓声の中、今も中村翁の記念碑は静かにたたずんでいます。



中村千代松翁功労記念碑



公園 (2.1ha) として整備された浄水場跡地